

173号 2004年5月発行(メーデー特集)

## 第75回かながわ中央メーデー 1万7000人が参加

29日、横浜・臨港パークで第75回かながわ中央メーデーを開催。17,000名が参加した。今メーデーには来賓として初の参加となる中田横浜市長も参加。ものまねショーなどのお楽しみ企画も盛りだくさんで、立体的な催しとなった。

ひと足早い五月晴れとなった29日、会場には開会前から続々とつめかけた。式典は小中連合神奈川会長代行、米内横浜地域連合議長の司会で進行。実行委員会を代表し、真壁実行委員長(連合神奈川会長)が壇上へ。厚木市が行っている地域防犯運動のチョッキに身を固め、「厚木愛甲地域連合はメーデーで防犯を訴えた。横浜のG30(ゴミ減量計画)をサポートするのも連合の役割」と訴えた。

また、年金問題について「年金はシンプルで公正な制度としなければならない。退職者、連合、政府などが入った社会契約的な年金制度を作る必要がある」とし、今夏の参議院選挙での、あさお慶」郎、ちば景子両候補への応援を呼びかけた。

来賓として、神奈川県・松沢知事、横浜市中田市長らがあいさつ。連合神奈川白石事務局長がスローガンと宣言案を提案、全員の拍手で確認された。

メインステージでは式典の前に、ダニエル・クレイさんのワンマンバンド(様々恋楽器を身につけ、すべてを同時に演奏する)や、美川憲二さんの美川憲一ものまねショーなどが会場をわかせた。

会場周辺では、バザール、献血、防災、子ども(ハムちゃんファファ、メルヘンSLなど)コーナー、行政コーナーなど多彩な企画が目白押し。家族連れなどの姿も多く見られ、笑顔と笑いの絶えないものとなった。